

県産木材の利用促進に関する実施状況について

1 要旨・目的

平成30年10月9日に公布・施行された「広島県県産木材利用促進条例」に基づき、県産木材の利用促進に関する取組を進めており、令和5年度の実施状況についてとりまとめを行った。

2 概要

(1) 実施状況

公共建築物等での木材利用に取り組み、県・市町ともに木造化・木質化が進むとともに、新たに付加価値の高い製品開発や販路拡大などに取り組むことで、県産木材の利用促進が図られた。

ア 公共施設等における利用促進

(ア) 公共建築物の木造化・木質化

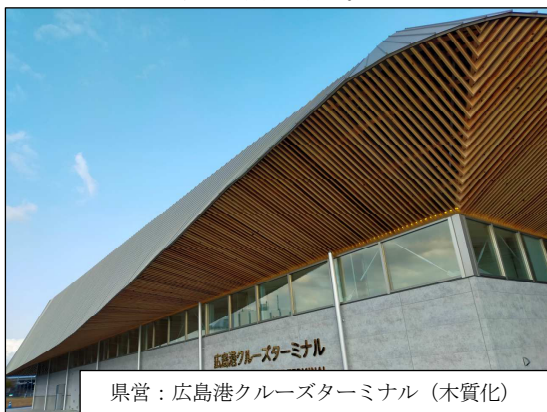
県営事業については、木造化・木質化率ともに100%であった。

区分	対象件数	木造化・ 木質化件数	木造化・ 木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	6	6	100%	111 m ³	18 m ³
木質化	8	8	100%	50 m ³	18 m ³

市町営事業については、木造化率68%、木質化率93%であった。

区分	対象件数	木造化・ 木質化件数	木造化・ 木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	22	15	68%	710 m ³	104 m ³
木質化	30	28	93%	304 m ³	69 m ³

注) 木造化の対象件数は、3階建て以下で延床面積3,000 m²以下の建築物（求められる機能等から木造化が困難なものを除く）を対象とする。木質化の対象件数は、木造以外の建築物（求められる機能等から内装施工がないものなどを除く）を対象とする。



県営：広島港クルーズターミナル（木質化）



町営：世羅町山福田自治センター（木造化）

(イ) 公共土木工事等での木材利用

治山事業及び林道事業等における工作物及び仮設資材等に県産材を利用した。

取組名	取組内容	木材利用量	うち県産材
公共土木工事等での県産材の利用	治山事業及び林道事業等において、筋工・木柵工等の工作物や、工事看板等の仮設資材に県産材を利用した。	228 m ³	226 m ³

(ウ) 備品等での木材利用

県議会の委員会室等における備品に県産材製品を利用した。

取組名	取組内容	利用実績
備品での県産材製品の導入	県議会の委員会室等において、県産材を利用した机・椅子を導入	机 116 台、椅子 154 脚、応接用テーブル 10 台、応接用チェア 39 脚



県議会委員会室 机（ヒノキ）・椅子（クリ）



県議会応接室 応接セット（ヒノキ）

イ 公共施設以外の建築物における利用促進

木造住宅に県産材を利用する取組を支援するとともに、店舗や事務所等の非住宅建築物への県産材利用の促進に取り組んだ。

建築士や施主からの木造化・木質化に関する様々な相談に対応するため、（一社）広島県木材組合連合会にワンストップの相談窓口を設置した。

取組名	取組内容	県産材利用量等
県産材消費拡大支援事業の実施	住宅等に県産材を利用する取組への助成	24.1 千m ³
相談窓口の設置	相談窓口を設置し、建築士や施主からの木造化・木質化の相談に対応	78 件

「都市（まち）の木造化推進法」の「建築物木材利用促進協定制度」を活用し、本県第 1 号となる協定を締結した。

協定締結先	締結日等	主な取組内容
株式会社ひろぎんホールディングス	【協定締結日】 令和 5 年 4 月 26 日 【有効期間】 協定締結日から令和 10 年 3 月末まで	・新たに整備する店舗において、構造材や内装等に積極的に広島県産材を活用する。（広島銀行十日市支店が令和 5 年 12 月完成） ・協定期間内に新たに店舗を整備する際は、同様の取組を検討する。

ウ 新たな用途の開発と販路の拡大

県産材の高付加価値利用につながる新たな製品開発や販路拡大の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
県産材製品の開発を支援	県産材を利用したレンタル個室ブースやスマートフォンケースなど、8 件の製品開発を支援	—
首都圏における県産材製品の展示を支援	東京都主催の木製品展示商談会「WOOD コレクション 2024」に、県内の企業・団体 8 社が建材、家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和 6 年 1 月 11 日～1 月 12 日	東京都（ビッグサイト）
	東京都が運営する木製品展示施設に、県内の企業 2 社が家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和 5 年 8 月 3 日～8 月 30 日	東京都（モクショーン）



県産スギの個室ブース（壁面に県産かき殻壁材使用）



県産ヒノキのスマートフォンケース

エ 木質バイオマスの利活用の促進

地域内で完結する小規模な木質バイオマスの熱利用の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
ひろしまの森づくり事業	里山林の木質バイオマス活用に取り組む団体に薪割機の導入を支援	東広島市、廿日市市
里山バイオマス利用拡大支援事業	大学生及び高校生を対象とした、木質バイオマスや里山への関心を高めるための環境学習や、企業、大学生及び行政等を対象とした木質バイオマスセミナー等を実施	広島市、呉市、庄原市

オ 普及啓発

10月の「木材利用促進月間」での記念講演会の開催や、木材利用に関するコンクールへの応募の働きかけ、木材の良さや利用の意義を学ぶ木育活動の支援を行い、県民等への県産材利用の機運醸成に取り組んだ。

区分	取組名	取組内容	場所
県産材に関する情報発信	講演会の開催	「木材利用促進月間」の取組として、（一社）広島県木材組合連合会と協力し、広島県と建築物木材利用促進協定を締結した、（株）ひろぎんホールディングスの広島銀行十日市支店木造化の取組等について講演会を開催し、約80名が参加	広島市
	「ウッドデザイン賞2023」受賞【主催：ウッドデザイン賞運営事務局】	木の良さや価値を再発見させる製品や取組を表彰する「ウッドデザイン賞」への応募を広く働きかけ、県内から7点が受賞し、ひろしま木づかい推進協議会等で紹介	
木育の推進	木育イベントの開催	森林保全や県産材利用の意義を学び、体験する木育活動を支援し、11市町（広島市、呉市、福山市、府中市、三次市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、安芸太田町）で約1万3千人が活動に参加	広島市他10市町



県産スギ・ヒノキを利用したひろしまゲートパーク（ウッドデザイン賞ライフスタイルデザイン部門）



外箱に県産スギを利用したコンポスト（ウッドデザイン賞ライフスタイルデザイン部門）

カ 人材育成

県内の建築士が中心となり、平成 28 年 7 月に森林林業・木材産業等の関係者により設立した「ひろしま木造建築協議会」と連携して、木造で設計が提案できる人材の育成に取り組んだ。

取組名	取組内容	場所
木造建築セミナー	木造化を提案できる建築士を育成するためのセミナーを開催した。 ○期日：令和 5 年 9 月 7 日～令和 5 年 12 月 7 日（全 6 回） ○参加者：16 名	広島市、東広島市、北広島町
木造建築スクール	木造建築の担い手となる学生に、県産材利用の意義や、木材の特徴、木造設計の基礎などについて学ぶ機会を提供した。 ○期日：令和 5 年 7 月 22 日～令和 5 年 9 月 11 日（全 4 回） ○参加者：11 名	広島大学、広島工業大学、近畿大学
技術研修会	建築士を対象に、会員の手掛けた木造建築事例を題材として、木造設計を進める上での疑問や課題の解決を探る技術研修会を開催した。 ○期日：令和 5 年 9 月 1 日 ○参加者：24 名	広島市
現地見学会	建築士を対象に、木造建築に関する見識を深めるため、県内の優良な木造建築の現地見学会を開催した。 【広島銀行十日市支店 構造見学会（三次市）】 ○期日：令和 5 年 7 月 12 日 ○参加者：42 名 【軈てらす 完成見学会（福山市）】 ○期日：令和 6 年 2 月 2 日 ○参加者：7 名	三次市、福山市



木造建築セミナー（プレカット工場での現地実習）



木造建築スクール（グループワークの成果発表）

(2) 今後の対応

更なる県産木材の利用促進に向け、次の取組を継続して進める。

- 建築分野では、住宅での取組に加え、住宅以外の建築物での更なる木造化・木質化に向けて、木造で設計が提案できる人材の育成や、木造化・木質化に関する相談窓口を設置するとともに、県と民間事業者等との県産材利用の促進に関する協定締結の働きかけを進める。
- 市町が関わる建築物については、木造化・木質化の促進に向けて、コスト削減や木材調達をテーマとした研修会等を開催し、木造建築に対する市町職員の知識の習得と意識改革を図る。
- 幅広い分野での県産材需要を創出するため、県産木材利用促進条例に基づき設立した「ひろしま木づかい推進協議会」と連携して、付加価値の高い家具等の県産材製品の開発や販路拡大に取り組む。